

第3弾 新型コロナ対策要望書を提出



真田・服部議員は公務のため欠席

新型コロナウイルス感染症が雇用、文化、教育など市民生活に広く影響を与えています。うじ未来会派ではこれまでも第1弾・第2弾新型コロナ対策要望書を提出し、宇治市も要望を受けて各分野へ対策を実施してきました。

しかし、まだまだこの感染症が市民生活に及ぼす脅威は収束していません。そこで、私たちは宇治市民の生活・文化を守る政策について第3弾の要望書を作成し、9月4日に山本市長へ直接提出をしました。

市当局も追加の新型コロナ対策補正予算を9月定例会に提出し、私たちが要望をした、前回の市民一人10万円給付金の対象にならなかった新生児への給付金、文化芸術・スポーツ活動への支援などが議決されました。

引き続き私たちは新型コロナウイルス感染症の脅威から市民の健康と生活を守る政策に全力で取り組んでまいりますので、皆様のご意見をぜひともお聞かせください。

うじ未来会派の 要望

- 1 特別定額給付金対象外の新生児への10万円給付
- 2 売上減少に苦しむ、市内農業者への支援
- 3 依然として売上が回復しない飲食業などの市内事業者支援
- 4 文化芸術・スポーツ・地域交流活動の発表・活動の場の提供
- 5 自由診療のPCR検査で陽性になった際の費用補助

宇治市の主な新型コロナ対策事業



新生児応援
臨時特別給付金

令和2年4月28日から
令和3年3月31日までに
出生した新生児へ10万円を給付



農産物継続生産
支援補助金

売上が減少している茶・黒大豆・
小豆・京野菜の生産農家を支援



お店おうえん
クーポン

30%のプレミアム付き
デジタルクーポンを発行し、
市内経済を活性化



文化芸術活動
動画配信

オンラインによる
文化芸術活動の発表機会を創出



スポーツ団体感染症
対策支援補助金

スポーツ関係団体が実施する
活動における感染症対策を支援



高齢者
フレイル予防対策

外出自粛により進行が
見込まれるフレイルの予防対策

9月定例会一般質問

市長の政治姿勢について (任期8年間を振り返って)

平成24年12月の市長就任以降、人口減少・少子高齢化で財政状況が厳しい中、まちづくりの大きな転換期に、市長は難しい市政運営に取り組んできた。この度の退任までの8年間を振り返って、特に重点をおいて実施した施策について質問した。市長は豪雨災害復旧、「認知症にやさしいまち、うじ」、子ども・子育て支援、財政再建プラン、内部改革などをあげ、マニフェストの多くを実現できたと答弁。他に未来型公共施設や集会所の今後のあり方について要望した。



松峯 茂 議員

公共交通について

人口減少により公共交通機関利用者は減少傾向にあり、採算の取れないバス路線は休廃止され、また代替手段である「のりあい交通事業」も利用者確保ができず休止になるなど、本市の公共交通は非常に厳しい状況にある。加えて、新型コロナウイルス感染症流行により、前年度比でタクシー約15%、路線バス約50%、のりあい交通事業・鉄道約40%も収入が落ち込み、各事業者は存続さえ危ぶまれる現状。公共交通は市民の生活と地域経済を支える社会基盤であり、採算性を求めているは存続できない!行政が積極的に支援し、公共交通を市民全員で守り抜くことを要望した。



今川 みや 議員

小中学校の教育ICT化実施のロードマップについて

新型コロナウイルス感染症流行により一人一台端末の配備が前倒しとなる一方で、市の教育振興基本計画には教育ICT化の記載がないため、小中学校教育におけるこの技術革新をどのように進めていくのかについてのロードマップを示すように質問した。宇治市教育委員会では教育ICT化のロードマップや計画を持ち合わせていないとの答弁であったため、市としてロードマップを示した上で、現場教職員のニーズに沿った教育ICT化を要望した。



角谷 陽平 議員

4常任委員会 報告

総務 常任委員会

政策、財務、広報、消防など総務を担当



西川 友康 角谷 陽平

新生児応援臨時特別給付金 給付事業について



宇治市が初めての住民登録となる令和2年4月28日から令和3年3月31日生まれの新生児の保護者で、令和2年4月27日からこの給付金の申請日までの間、継続して宇治市に住民登録している保護者に対して、新生児一人につき10万円を給付。

文教・福祉 常任委員会

教育、福祉を担当



岡本 里美

令和2年度宇治市奨学金 返還支援制度について



30歳未満の若年層・子育て世帯の奨学金返還による経済的負担を軽減し宇治市への定住促進を図るため、令和元年10月～令和2年9月に返還した奨学金の2分の1、または8万5千円のいずれか低い額を交付、また結婚・出産された場合は13万円を交付。

市民・環境 常任委員会

観光、自治、ゴミ収集、農業委員会などを担当



松峯 茂 今川 みや

産業交流拠点 「うじらぼ」の 開設について



事業者・起業家・学生など、様々な人の交流を通し、新たなアイデア・事業・商品等の新しい価値を生み出すことを目的とした産業交流拠点「うじらぼ」を、令和2年11月19日、産業会館1Fに開設し、新たな起業拠点を整備する。

建設・水道 常任委員会

建設、都市整備、水道などを担当



真田 敦史 服部 正

府道向島宇治線改良 事業について



京都府の宇治橋西詰周辺の交通渋滞緩和や事故低減を目的に、鉄道と立体交差を行う一般府道向島宇治線道路改良事業について、暫定的なバイパス道路が令和2年10月5日に開通し、それに伴い宇治街道踏切が閉鎖された。

うじ未来 議員紹介

- 松峯 茂 【まつみね しげる】 ●うじ未来 団長 ●市民環境常任委員会委員 ●城南衛生管理組合議長 ●議会運営委員会委員
- 真田 敦史 【さなだ あつし】 ●宇治市議会議長 ●建設水道常任委員会委員
- 服部 正 【はっとり ただし】 ●広報委員会副委員長 ●建設水道常任委員会委員

- 今川 美也 【いまがわ みや】 ●市民環境常任委員会委員 ●城南衛生管理組合議長
- 岡本 里美 【おかもと さとみ】 ●文教福祉常任委員会委員 ●京都府後期高齢者医療広域連合議会議員
- 西川 友康 【にしかわ ともやす】 ●議会運営委員会副委員長 ●総務常任委員会委員
- 角谷 陽平 【かどや ようへい】 ●総務常任委員会委員 ●広報委員会委員